

令和4年度 新学習指導要領「情報I」指導力向上研修〔3班〕 実施要項

- 1 目的 新高等学校学習指導要領の円滑な実施をめざし、「情報I」の指導に携わる教員の専門性の向上を図るとともに、これからの時代に生徒に求められる資質・能力を育成するための指導力の向上を図る。
*令和2年度から3年間、教科情報でG判定を受けているすべての教員が対象となる悉皆研修である。

- 2 対象 教科「情報」でG判定を受けている教員

3 内容等

回	日時	内容	講師等
1	リアルタイム開催 6月17日(金) 14:00~17:00	「コンピュータとプログラミング」の指導方法について	大阪教育大学 理数情報教育系 理数情報部門 情報基盤センター 准教授 尾崎 拓郎 大阪府教育センター 指導主事等
	提出締切: 7月15日(金)	[講義・演習・協議]	
2	リアルタイム開催 10月14日(金) 14:00~17:00	「コミュニケーションと情報デザイン」の指導方法について	奈良女子大学 非常勤講師 竹中 章勝 大阪府教育センター 指導主事等
	提出締切: 11月11日(金)	[講義・演習・協議]	
3	リアルタイム開催 11月25日(金) 14:00~17:00	「情報通信ネットワークとデータの活用」の指導方法について	大阪府教育センター 指導主事等
	提出締切: 12月23日(金)	[講義・演習・協議]	

- 4 会場 所属校等

- 5 担当室 高等学校教育推進室

- 6 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認すること。
(3) Web開催(オンデマンド開催、リアルタイム開催)の場合、研修対応ポータルサイトの実施マニュアルを参照すること。

令和4年度 新学習指導要領「情報Ⅰ」指導力向上研修〔3班〕 シラバス

1 目的

新高等学校学習指導要領の円滑な実施をめざし、「情報Ⅰ」の指導に携わる教員の専門性の向上を図るとともに、これからの時代に生徒に求められる資質・能力を育成するための指導力の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	Ⅰ			Ⅱ			Ⅲ			Ⅳ			Ⅴ		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期			○							○	○	○			
第2期			○							○	○	○			
第1期			○							○	○	○			
第0期															

3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	「コンピュータとプログラミング」の指導方法について	自然現象や社会現象の問題点を発見し、コンピュータやプログラミングを活用し解決策を考えられるようにするための指導方法を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決にコンピュータや外部装置を活用する活動を通して情報の科学的な見方・考え方を働かせて、コンピュータの仕組みとコンピュータでの情報の内部表現、計算に関する限界などについて理解させる方法を学ぶ。 モデル化やシミュレーションの考え方を様々な場面で活用できるようにするために、問題発見や解決に役立て、問題の適切な解決方法を考える力を育成する方法を学ぶ。 アルゴリズムを表現し、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークの機能を使う方法や技能、生活の中で使われているプログラムを見い出して改善しようとする 	準備物 高等学校情報科「情報Ⅰ」教員研修用教材⇒ ダウンロード ※タブレット端末等にダウンロードしたものでもよい。

			ことなどを通じて、情報社会に主体的に参画しようとする態度を養う方法を学ぶ。	
2	「コミュニケーションと情報デザイン」の指導方法について	情報のデジタル化や、コミュニケーションとメディアの関係を理解し、情報の構造と関係性を適切に表現したデザインについて作成、評価、改善を繰り返すことで、情報伝達やコミュニケーションにおける問題を解決できるようにするための指導方法を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える活動を通じて、情報の科学的な見方・考え方を働かせることで、メディアの特性やコミュニケーション手段の特徴について科学的に理解させる方法を学ぶ。 ・効果的なコミュニケーションを行うために、情報デザインの考え方や方法を身に付けさせる方法を学ぶ。 ・情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行う態度を養う方法を学ぶ。 	
3	「情報通信ネットワークとデータの活用」の指導方法について	情報通信ネットワークの管理、運用ができ、データベースやWeb上のテキストデータ、オープンデータ等を可視化、分析する力を育成するための指導方法を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを活用する活動を通じて情報の科学的な見方・考え方を働かせることで、情報通信ネットワークや情報システムの仕組みを理解させる方法を学ぶ。 ・データを蓄積、管理、提供する方法、データを収集・整理・分析する方法、情報セキュリティを確保する方法を身に付けるようにし、目的に応じて情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを安全かつ 	<p>事前課題</p> <p>「情報技術を活用して問題の解決に向けた探究を行う学習活動を構想する」に取り組んでおく。</p> <p>※第1回で連絡します</p>

			<p>効率的に活用する力やデータを問題の発見・解決に活用する力を育成する方法を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none">・情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、データを多面的に精査しようとする態度、情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度を養う方法を学ぶ。	
--	--	--	--	--